

2023年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年7月29日

上場会社名 株式会社ユタカ技研 上場取引所 東  
 コード番号 7229 URL <https://www.yutakagiken.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青島 隆男  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 清水 克訓 (TEL) 053-433-4111  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	46,308	△6.3	△384	—	461	△85.6	△164	—	△117	—	3,798	92.5
2022年3月期第1四半期	49,443	47.6	3,019	—	3,192	—	1,915	—	1,335	—	1,973	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△7.88	—
2022年3月期第1四半期	90.06	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	210,713	97,400	86,645	41.1	5,847.23
2022年3月期	208,334	94,974	83,808	40.2	5,655.74

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	36.00	—	40.00	76.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	44.00	—	44.00	88.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	273,000	27.9	9,900	11.8	9,600	△15.5	6,500	△5.5	5,200	16.4	350.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期1Q	14,820,000株	2022年3月期	14,820,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期1Q	1,824株	2022年3月期	1,824株
------------	--------	----------	--------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期1Q	14,818,176株	2022年3月期1Q	14,818,176株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	6
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、国内では、原材料高騰や急速な円安による物価高と足元が不安定な中、新型コロナウイルス感染症に対する活動制限緩和もあり個人消費を中心に持ち直し基調がみられました。一方海外では、国ごとに違いはあるものの米国は良好な雇用・所得環境により個人消費・設備投資を中心に堅調に推移しました。また中国では上海でのロックダウンを段階的に解除し経済活動正常化へ向け持ち直しを見せ、アジア諸国の景気も回復基調で推移しています。

自動車生産台数においては、半導体不足による供給制約と上海でのロックダウンによるサプライチェーンの混乱が響き多くの完成車メーカー各社は前年同期比減となりました。

世界経済は、長期化している新型コロナウイルス感染症の影響とロシアのウクライナ侵攻によるエネルギーの高騰が世界的にインフレを加速させており、依然として先行きは不透明な状況です。

この様な環境の中、当社グループは、半導体供給不足や新型コロナウイルス感染症再拡大に伴う上海ロックダウンによる顧客からの受注減に加え、原材料や輸送費等の高騰により、当第1四半期連結累計期間の売上収益は、463億8百万円(前年同期比6.3%減)、営業損失3億8千4百万円(前年同期は営業利益30億1千9百万円)、税引前四半期利益4億6千1百万円(前年同期比85.6%減)、四半期損失1億6千4百万円(前年同期は四半期利益19億1千5百万円)、親会社の所有者に帰属する四半期損失1億1千7百万円(前年同期は親会社の所有者に帰属する四半期利益13億3千5百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

(日本)

半導体供給不足に伴う顧客からの受注減に加え、原材料や輸送費等の高騰により、売上収益83億円(前年同期比9.9%減)、営業損失5億8千9百万円(前年同期は営業損失2億8千5百万円)となりました。

(北米)

売上収益は半導体供給不足による受注減はあったものの、主に為替変動により増加、利益面においては、半導体供給不足による急激な生産調整に伴う固定費ロスに加え、原材料や輸送費等の高騰により、売上収益115億8千9百万円(前年同期比33.0%増)、営業損失10億2千8百万円(前年同期は営業損失1億2千8百万円)となりました。

(アジア)

主に為替変動により売上収益は増加となったものの、原材料や輸送費等の高騰により、売上収益54億1千1百万円(前年同期比5.7%増)、営業損失6千5百万円(前年同期は営業利益9千7百万円)となりました。

(中国)

為替変動による円安効果はあったものの、新型コロナウイルス感染症再拡大に伴う上海ロックダウンの影響に加え、原材料や輸送費等の高騰により、売上収益241億9千9百万円(前年同期比16.9%減)、営業利益7億5百万円(前年同期比74.7%減)となりました。

(その他)

イギリスの工場閉鎖に伴う売上収益の減少により、売上収益は2億5千1百万円(前年同期比85.6%減)、営業利益6千3百万円(前年同期比88.2%減)となりました。

(注) 上記に記載しているセグメント別の売上収益は、外部顧客への売上収益とセグメント間の内部売上収益の合計であります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、現金及び現金同等物や営業債権及びその他の債権の減少がありました。棚卸資産や有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ23億7千9百万円増加し、2,107億1千3百万円となりました。

負債につきましては、営業債務及びその他の債務の増加がありました。借入金等の減少により、前連結会計年度末に比べ4千7百万円減少し、1,133億1千3百万円となりました。

資本につきましては、その他の資本の構成要素の増加により、前連結会計年度末に比べ24億2千6百万円増加し、974億円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、349億4百万円(前年同期比39.6%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は50億7千6百万円(前年同期は49億5千1百万円の使用)となりました。これは主に棚卸資産の増加や営業債務及びその他の債務の減少、法人所得税等の支払額による支出がありましたが、営業債権及びその他の債権の減少や減価償却費及び償却費による収入が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は8億2千7百万円(前年同期比42.3%減)となりました。これは主に新機種投資に伴う有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は90億8百万円(前年同期比970.1%増)となりました。これは主に借入金の返済や配当金支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期連結業績予想につきましては、2022年5月12日の「2022年3月期決算短信〔IFRS〕(連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、第2四半期連結会計期間以降の想定為替レートは1米ドル130円としております。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2022年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	42,073	36,894
営業債権及びその他の債権	72,323	65,223
棚卸資産	32,372	41,906
その他の流動資産	3,820	6,281
流動資産合計	150,588	150,304
非流動資産		
有形固定資産	53,031	54,932
無形資産	663	646
退職給付に係る資産	1,332	1,325
繰延税金資産	1,990	2,693
その他の非流動資産	730	813
非流動資産合計	57,746	60,409
資産合計	208,334	210,713
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	95,279	101,369
借入金	9,787	3,845
未払法人所得税等	1,239	1,619
その他の流動負債	2,603	2,360
流動負債合計	108,907	109,193
非流動負債		
借入金	652	638
退職給付に係る負債	1,607	1,632
繰延税金負債	622	390
その他の非流動負債	1,572	1,461
非流動負債合計	4,453	4,120
負債合計	113,360	113,313
資本		
資本金	1,754	1,754
利益剰余金	78,360	77,650
自己株式	△3	△3
その他の資本の構成要素	3,697	7,244
親会社の所有者に帰属する持分合計	83,808	86,645
非支配持分	11,166	10,755
資本合計	94,974	97,400
負債及び資本合計	208,334	210,713

## (2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	49,443	46,308
売上原価	43,242	43,059
売上総利益	6,202	3,250
販売費及び一般管理費	3,835	3,770
その他の収益	708	171
その他の費用	55	35
営業利益 (△は損失)	3,019	△384
金融収益	191	890
金融費用	19	44
税引前四半期利益	3,192	461
法人所得税費用	1,277	625
四半期利益 (△は損失)	1,915	△164
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	△1	2
純損益に振替えられることのない項目合計	△1	2
純損益に振替えられることのある項目		
在外営業活動体の換算差額	59	3,960
純損益に振替えられることのある項目合計	59	3,960
その他の包括利益 (税引後) 合計	59	3,962
四半期包括利益	1,973	3,798
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,335	△117
非支配持分	580	△47
四半期利益 (△は損失)	1,915	△164
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,405	3,430
非支配持分	568	368
四半期包括利益	1,973	3,798
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失)	90.06	△7.88

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

区分	親会社の所有者に帰属する持分					その他の 資本の 構成要素 その他の包括利益 を通じて公正価値 で測定する金融 資産の純変動
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		
2021年4月1日残高	1,754	—	75,126	△3	10	
四半期利益 (△は損失)			1,335		△0	
その他の包括利益					△0	
四半期包括利益	—	—	1,335	—	△0	
配当金			△533			
所有者との取引等合計	—	—	△533	—	—	
2021年6月30日残高	1,754	—	75,927	△3	9	

区分	親会社の所有者に帰属する持分			親会社の所有者 に帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素					
	在外営業 活動体の 換算差額	その他の 資本の構成 要素合計				
2021年4月1日残高	△859	△849	76,028	9,735	85,763	
四半期利益 (△は損失)		—	1,335	580	1,915	
その他の包括利益	71	71	71	△12	59	
四半期包括利益	71	71	1,405	568	1,973	
配当金		—	△533	△97	△631	
所有者との取引等合計	—	—	△533	△97	△631	
2021年6月30日残高	△788	△778	76,900	10,206	87,106	



(単位：百万円)

区分	親会社の所有者に帰属する持分					その他の 資本の 構成要素 その他の包括利益 を通じて公正価値 で測定する金融 資産の純変動
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		
2022年4月1日残高	1,754	—	78,360	△3		12
四半期利益 (△は損失)			△117			
その他の包括利益						1
四半期包括利益	—	—	△117	—		1
配当金			△593			
所有者との取引等合計	—	—	△593	—		—
2022年6月30日残高	1,754	—	77,650	△3		13

区分	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者 に帰属する 持分合計		
	在外営業 活動体の 換算差額	その他の 資本の構成 要素合計			
2022年4月1日残高	3,684	3,697	83,808	11,166	94,974
四半期利益 (△は損失)		—	△117	△47	△164
その他の包括利益	3,546	3,547	3,547	415	3,962
四半期包括利益	3,546	3,547	3,430	368	3,798
配当金		—	△593	△779	△1,372
所有者との取引等合計	—	—	△593	△779	△1,372
2022年6月30日残高	7,230	7,244	86,645	10,755	97,400

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	3,192	461
減価償却費及び償却費	1,993	2,179
金融収益及び金融費用(△は益)	△67	△69
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△8,157	13,097
棚卸資産の増減額(△は増加)	△9,641	△6,915
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	8,847	△1,406
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△44	△8
その他	240	△1,084
小計	△3,636	6,255
利息の受取額	85	113
配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△14	△59
法人所得税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,385	△1,234
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,951	5,076
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	121	△95
有形固定資産の取得による支出	△1,665	△1,353
有形固定資産の売却による収入	132	643
無形資産の取得による支出	△25	△27
貸付金の回収による収入	3	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,435	△827
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,322	△6,447
リース負債の返済による支出	△149	△107
長期借入金の返済による支出	△128	△146
配当金の支出額	△519	△587
非支配持分への配当金の支出額	△1,368	△1,721
財務活動によるキャッシュ・フロー	△842	△9,008
現金及び現金同等物に係る換算差額	107	704
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,120	△4,055
現金及び現金同等物の期首残高	32,121	40,249
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△1,290
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,001	34,904

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び当社の子会社においてそれぞれ独立した経営単位であり、取締役会及び取締役会から選定された取締役によって構成される経営会議において、経営の重要事項について審議し、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社では、地域毎に取締役本部長・担当取締役等が任命されており、担当地域の包括的な戦略の立案を統括し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売を基礎とした地域別のセグメントから構成されております。

各報告セグメントの主な地域は、以下のとおりです。

報告セグメント		主要な製品及びサービス
日本	日本	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品、その他) 自動車部品二輪 汎用部品 その他
北米	米国 メキシコ	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品、その他) 自動車部品二輪
アジア	フィリピン インドネシア タイ インド	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品) 自動車部品二輪
中国	中国	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品)
その他	ブラジル	自動車部品四輪(排気系部品、その他)

## 2. 報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループの前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間の報告セグメント情報は以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	日本	北米	アジア	中国	その他	合計		
外部顧客への売上収益	5,842	8,686	4,491	28,779	1,644	49,443	—	49,443
セグメント間の内部 売上収益	3,374	27	628	356	98	4,483	△4,483	—
計	9,216	8,713	5,119	29,135	1,743	53,926	△4,483	49,443
営業利益(△は損失)	△285	△128	97	2,792	538	3,015	5	3,019
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	191
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	19
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	3,192

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。  
 2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。  
 3 営業利益(△は損失)の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	日本	北米	アジア	中国	その他	合計		
外部顧客への売上収益	5,560	11,470	5,108	23,920	250	46,308	—	46,308
セグメント間の内部 売上収益	2,740	119	303	279	0	3,441	△3,441	—
計	8,300	11,589	5,411	24,199	251	49,749	△3,441	46,308
営業利益(△は損失)	△589	△1,028	△65	705	63	△913	529	△384
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	890
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	44
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	461

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。  
 2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。  
 3 営業利益(△は損失)の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。